

株式会社鯨井会計

学術研究、専門・
技術サービス業



企業の更なる発展のために、女性管理職の育成に取り組む

■会社概要

設立：2000年8月

本社所在地：つくば市

代表者：代表取締役 鯨井 直子

常用労働者数：女性51名、男性30名、計81名

役員に占める女性の割合：50%（2/4（人））

管理職に占める女性の割合：0%（0/10（人））

平均勤続年数：女性8年、男性12年

平均残業時間：2.5時間/月

有給休暇取得率：65.6%

育児休業取得率：女性100%、男性0%

（令和3年1月時点）

これまでの取組

ここ数年は女性社員の積極的採用、定着率向上の為に働き方改革を行ってきた。女性活躍のために福利厚生面の充実や制度の見直し、男性社員の管理職育成等を中心に取組みを行ってきた。

現在の課題

現在は、男性管理職のマネジメント能力も上がってきており、今後を担う女性管理職も検討する時期に差し掛かってきている。

管理職候補となりうる女性はあるものの、育成については具体的な計画を立てられていないことが課題。

また、男性管理職との連携をどのように図っていくべきかという点も考えていかなければならない。

新たに設定した目標・取組

一般事業主行動計画 概要

計画期間：令和3年3月1日～令和6年2月28日

■目標：女性の管理職を3名以上とする。

■現状課題：女性管理職候補はいるが、育成計画が未設定のため管理職に求めるゴールが定まっていない。

■取組内容

- 経営層に対し女性活躍推進の意識強化を図ると共に、管理職候補者に向けた研修カリキュラムの作成や評価基準の見直し、社員自身がキャリアプランを描けるように個人面談を行う。
- 初年度の取組を振り返り、従業員同士の意見交換を交えながら、成果と見直しを図る。

■策定に当たっての工夫

まずは現状既に取り組んでいる項目と、これから整備しなければならない項目との洗い出しを行う事により、どの時期にどのような取組みをしたら良いのかというスケジューリングを行った。

項目の明確化から入ったことで、会社が目指す将来目標と行動計画期間をリンクさせ、その期間内における具体的内容に落とし込むことが出来た。

期待する効果

女性管理職候補者の選定や管理職任命時期、育成イメージを明確にすることにより、取組内容と紐づけながらの対応が可能となる。また、管理職ロールモデルを輩出することにより、若手社員への影響力が高まる事への期待も大きい。

■代表メッセージ

私ども(株)鯨井会計は、女性が活躍できる会社運営を目指して、現在制度改革に取り組んでおります。子育てや介護中の職員の勤務時間も柔軟に対応させていただき、常用労働者数も女性の割合が過半数を超えるところまでまいりました。現在次のステップとして女性の幹部職員の育成に注力してまいりたいと考えております。



代表取締役
鯨井 直子 さん